

ヤブツバキ

か めい
科名 ツバキ

へつ めい
別名 ヤマツバキ、ホウザンツバキ、
キ、台湾ヤマツバキ

がく めい
学名 *Camellia japonica*



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぷ
分 布 ほんしゅう しこく きゅうしゅう たいわん
本州、四国、九州、台湾

は かたち
葉 の 形 だえんけい ちょうだえんけい ちょうらんけい
楕円形、長楕円形、長卵形

は ぶち
葉 の 縁 きよし
鋸歯

は さき
葉 の 先 えいせんけい
鋭尖形

は しゅるい たんよう
葉 の 種類 単葉

は つきかた ごせい
葉 の 付方 互生

は き ぶ えんけい ぜんせんけい
葉 の 基部 円形、漸尖形

み しゅるい さくか
実 の 種類 蒴果

は な がくいろ あかいろ しろいろ
花・萼色 赤色、白色

せつ 説
めい 明
山野に生育し、人家の庭にも植えられており、高さ15mに達する常緑の高木です。葉は革質で硬く光沢があり、濃い緑色をしており、長さ4-8cmです。葉の縁にはまばらな鋸歯があります。花は濃い紅色、淡い紅色または白色で、大きさは径5-7cmです。この花は多量の蜜液を出し、鳥や昆虫を誘います。実は、ほぼ円形で径2-2.5cmです。